

カシラの仕事

近隣のムラムラとの打ち合わせをしたり、水路の工事を共同で行ったり、スケジュールをまとめたりする事もあったんだ。

お父さんがムラになってみんなにどんな仕事を与えるのかなあ。



山で狩りをしたり



がんばりますよ

ザンバドレツ



はいはい わたしは 無理ですよ

あなたに たのむよ

カシラは あんたが いいよ

海で漁をしたり



それからムラとムラの小さな問題もカシラどうして話し合いトラブルを解消するようになったんだよ。

ムラの人々の暮らし

ムラの人々の暮らしはどうだったのかな。人々は市などを開き物と物を交換したりして暮らしはより豊かになっていったんだね。



し魚じゃくと交われ納よ。

それにしても いい石斧だね ほんとに。

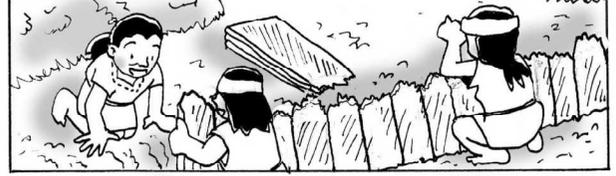
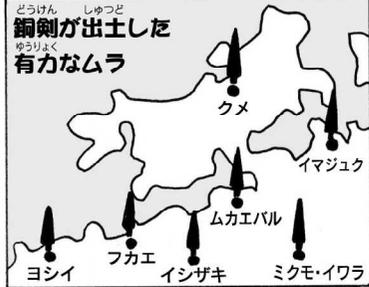


これが 秘が作った 石斧だよ。

わたしたちの住む系島の昔の暮らしを知りたい

饑国

第3回 ●ムラからクニへ
画・上角智子



稲作が定着し米や食物の蓄えが始まった。これらの技術は水田を洪水から守るためなどに護岸を施したり、新に水路を築くなど大規模な土木工事の進歩に繋がっていったんだ。そして、工事を進めていくためにカシラという皆をまとめる役目が必要になっていったんだよ。



え？

ムラもいつかは 人脈もいよいよ 体もりつぱは なるってカシラに

そうだ、は 人脈もいよいよ 体もりつぱは



お父さん 頑張って！



うちのカシラは お父さんだね。 だって家族を まとめてるもんね。



ムラからクニへと

小さなムラが大きなムラになり、沢山の物や知恵が集まるとそれは大きなクニへと成長していったんだ。それが私たちの住む伊都の国へと繋がっていったんだね。



石斧を中心とした交易が盛んになって色々な物や人々も集まって更に大きなムラになったんだ。より強力なリーダーシップも求められたんだよ。



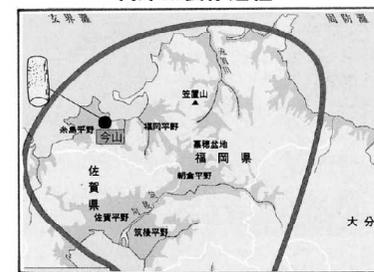
重要な経済基盤・今山遺跡

現在の今山の全景

今山の石器は北部九州一円に広まっていた。今山周辺には石斧づくりを専門に行うムラがあり、カシラがまとめていたと考えられています。今山は全国でも珍しい石器だけを作る人々が暮らすムラだったんだよ。



弥生前期～中期前半 今山遺跡では、玄武岩を利用して大量の石斧を作っていたんだよ。



僕らも石斧を持って弥生人みたいだね 船で運んだり

